

令和3年度第1回三重県脱炭素社会推進本部会議概要

1 開催日時：令和3年4月16日（金）9：45～9：55

2 開催場所：プレゼンテーションルーム

3 議事概要：以下のとおり

（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 三重県地球温暖化対策総合計画について

●岡村環境生活部長

司会進行

●長崎地球温暖化対策課長

資料に沿って説明

☆高間総務部長

今後、三重県地球温暖化対策総合計画の下で、様々な施策を具体的に実施していくにあたって、財源調達面においては、近年、東京都や長野県といった一部の自治体が発行したグリーンボンドの活用が考えられる。

背景として世界的なESG投資への関心の高まりがあり、他県との差別化を図り、三重県債を安定的に消化するため、今年度中のグリーンボンドの発行を目指して、検討を進めたい。

発行にあたっては、発行スキームの検討に加え、充当事業の選定や、外部評価機関の事業評価等が必要となることから、環境生活部を中心に関係部局との協働が不可欠であり、関係部局の皆さまには協力をぜひお願いしたい。

☆鈴木知事

本日、第1回の脱炭素社会推進本部会議を行ったが、先般定例記者会見で報告した県民意識調査でも、脱炭素について県民の関心は高いので、関心・意識を行動に向けていただけるように、全庁を挙げて今回の脱炭素の計画に基づいて、具体的な取組をオール三重で進めて欲しい。

また、先ほど計画の説明にあったように県庁内の削減目標もあるので、職場職場で取り組んで達成するようにお願いします。

直近では、多気町をはじめとした6町が脱炭素宣言を行っており、市町とも連携して取組をあらゆる場面で進めて欲しい。

また、総務部長から発言のあったグリーンボンドの発行については、大変よい取組である。

本日のぶら下がり会見で詳細を発表するが、全庁あげて、令和3年度中に発行できるように取組を環境生活部と総務部を中心に全部局でやってほしい。

省エネルギー化、低公害車などの温室効果ガスの削減に資する事業や治水対策、治山事業、アコヤガイの関係など気候変動影響への適応事業に充てることができる。

積極的に、総務部、環境生活部と全部局が連携して着実に準備を進めて欲しい。